

鳶巣シェアハウスプロジェクト通信

— 第1号 —

編集・発行
地・学連携による空き家活用プロジェクト事務局
(一般財団法人島根県建築住宅センター内 TEL:0852-26-4577)

令和2年11月



(一財) 島根県建築住宅センターのホームページでも活動報告を行っています。
URL : <https://www.shimane-bhc.or.jp/594>

出雲市鳶巣地区に学生向けシェアハウスを整備します！

出雲市鳶巣地区は出雲市の北部、出雲大社から約8キロにある小さな集落です。市内では自治会活動が活発な地域として有名で、令和の時代においても地域のコミュニティが残っています。しかし、全国や県内各地と同様に高齢化や空き家の増加など地域の活力低下が課題となっています。

鳶巣地区には島根県立大学出雲キャンパス（以下、県大という）が立地しています。近年、4年制大学化や健康栄養学科の創設などにより、島根の医療、福祉、健康増進に欠かせない重要な大学となっています。さらに、県西部や隠岐地域などからの学生を積極的に受け入れ、これまで以上に地域に根差した大学となることを目指しています。しかし、自宅通学困難な地域から入学する学生が増えることによって家賃の安い学生寮は常に満員となっており、寮の選考に漏れた学生は家賃の高い民間アパートなどに入居せざるを得ない状況になっています。

このようなことから、鳶巣地区にある空き家を家賃の安い学生向けシェアハウスに改修し、そこに学生が住むことで、地域と大学の課題解決を図ろうと本プロジェクトが始まりました。シェアハウスを整備するための設計や工事などの各過程においては、地域の皆様や県大の学生と一緒に考えたり、作業をしたりしながら進めていきたいと思っています。どうか、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

これまで の取組

令和2年5月に本プロジェクトがスタートしました。各種調整、国の補助金への応募などを行い、初めての関係者打合せと現地確認を行ったのが、7月下旬でした。その後、残置物の処分を行うための片付けワークショップ、広島県への先進事例視察、鳶巣地区の空き家実態調査などを実施し、第1回目の検討会を10月中旬に行いました。



①現地確認



②第1回片付けワークショップ



③先進事例視察

対象の空き家は約5年前から
空き家であった建物。まずは
残置物の処分からスタートし
ました！



④鳶巣地区空き家実態調査



⑤第1回検討会

第2回設計ワークショップのお知らせ

地域の皆様や大学生でグループを作り、模型や図面を使ってシェアハウスへの改修に向けたワークショップを行います。川北町内以外にお住まいのかた、鳶巣地区以外にお住まいのかたの参加も大歓迎です。飛び入り参加も大歓迎。ぜひご参加ください！



日時：令和2年12月12日（土）
13:30～15:30
場所：西林木町585番地 有富邸

第2回片付けワークショップ 令和2年10月18日

地域の皆様や県大の学生も参加して、残置物処分のための片付けワークショップを開催しました。ゴミの処分に重要なのはしっかり分別すること。開始前には分別勉強会を行ってから片付けに着手しました。

まだまだ使えそうな牛乳石鹸やCDなどはほしい人が持ち帰るなど、ゴミの削減を図りました。

今回の片付けワークショップで大量に残っていた残置物の整理、処分が概ね完了しました。次からはシェアハウスへの改修に向けて具体的に検討を始めていきます。

30名以上の方の参加をいただきありがとうございました！



第1回設計ワークショップ 令和2年11月1日

地域住民、学生、市役所職員などが4つのグループに分かれて設計ワークショップを行いました。今回出た意見を整理して、実際のシェアハウスのプラン作成に生かしていきます。

設計ワークショップは2回の実施を予定しています。次回は模型や図面を使ってさらに具体的な検討を行います。



まずは自己紹介！

何をするにもまずは自己紹介！名前は？趣味は？島根大学の学生が音頭をとってくれました。

イメージの整理

付箋に自分の考えを書いてグループで発表。ピンクの付箋は良いイメージ。青い付箋は心配や不安なイメージです。

みんなで共有

最後は模造紙にまとめて、発表会！各グループの発表内容は次のページを要確認！



A 班 地域と交流するテラスハウス

- ・周辺環境：自然が多く静かであるが、虫や動物（鹿や猿）が出る。
- ・地域との関係：住民の方に料理など色々なことを教えてもらいたい。しかし、住民の皆様と学生の生活リズムが合うか心配。
- ・利便性：大学から近くて便利。
- ・テレビ番組で有名なテラスハウスみたいなシェアハウスにしたい。広いウッドデッキを整備し、BBQや地域との交流に使いたい。
- ・水回りのきれいさや、個室のプライバシーは重要。フローリングの洋室もほしい。



B 班 地域改造ビフォーアフター

- ・地域のお祭りや催しに学生も参加して交流の輪を広げられるようにしたい。
- ・建物が広い。地域のコミュニティの場として使いたい。
- ・桜並木の土手が近い。春には桜を見ながら花見ができる。
- ・庭には柿の木がある。シンボルツリーとして守っていきたい。
- ・周辺の街灯が少なく夜が暗い。セキュリティ面が気になる。
- ・建物が古いので、耐震性や温熱環境などが心配。
- ・山が近いので、崖崩れの心配がある。



C 班 地域の特性を生かしたシェアハウス

- ・地域の子もたちの家庭教師や、子守りを行うなど地域に貢献できる。
- ・山が近く崖崩れや災害が心配。また夏には虫が多く、蛇や猿、穴熊、狸、猪もでる。網戸が必要。
- ・プライベートな部分、パブリックな部分があるので、人への気遣いや社会性が身につくと思う。
- ・やさしい管理人さんがいい。
- ・街灯が少なく暗い。周辺にスーパーなどのお店がなく不便。
- ・掃除などの役割分担はしっかり決めたほうがいいと思う。



D 班 外部空間と内部空間の有効利用について

- ・土地が広く、現在有効活用できていない部分を地域交流の場として使いたい。
- ・キッチンが広かったり、トイレが2つあったり空間が充実している。
- ・周辺にスーパーや外食できる場所がない。反面、静かできれいな風景が残っている。
- ・女子学生が多いことを考えると周辺が暗く防犯面が心配。
- ・壁が少なく、耐震性や断熱性を改善するための改修が必要と思う。

